



プログラミング言語「Ruby」を活用したITビジネスコンテスト 『Ruby biz Grand prix 2020』 ファイナリスト事例・企業が決定！

～12月16日（水）にオンライン配信にてグランプリを発表～

Ruby biz グランプリ実行委員会(事務局:島根県 商工労働部 産業振興課 情報産業振興室)は、Ruby biz グランプリ審査委員会の選考を経て、国内24事例、総勢23社の中から9事例のファイナリストを決定いたしました。いずれのファイナリストも、VRやAIなど最新技術を活用して、医療・ビジネス・投資など各分野の課題解決に積極的に取り組んでいる最先端企業が集結しております。

また、12月16日（水）にオンライン配信で開催される表彰式において、ファイナリストの中から第6回グランプリが発表されます。

＜ファイナリスト事例・企業＞（※記載は50音順）



株式会社オープンエイト
Video BRAIN (ビデオブレイン)



株式会社ジョリーグッド
emou (エモウ)



株式会社すむたす
すむたす買取



株式会社tsumug
TiNK Desk (ティンク デスク)



株式会社ビビッドガーデン
食ベチヨク



free株式会社
プロジェクト管理free (フリー)



株式会社ブリッジ・シー・キャピタル
CREAL/クリアル



株式会社メディカルノート
Medical Note (メディカルノート)



株式会社ONE COMPATH
aruku& (アルクト)

■ Ruby biz Grand prix 2020 表彰式 開催概要

名称 : Ruby biz Grand prix 2020
日時 : 2020年12月16日（水）10:30～11:30
形態 : オンライン（YouTube）
プログラム : 主催者代表挨拶/実行委員会顧問挨拶（動画）/表彰式/プレゼン
※プログラム内容変更及び予定時間が前後する可能性がありますので、予めご了承ください。
※オンライン配信のURLは改めて告知いたします。



<Ruby biz Grand prix 2020 開催概要>

- 募集対象 : Rubyを使った自社商品・サービスなどで、Rubyの特徴を活かし、「新規性」「独創性」「市場性」「将来性」に富んでおり、今後継続的に発展が期待できるビジネス事例。
- 募集期間 : 2020年6月15日(月)～9月18日(金)
※募集は終了しております。
- 表彰 : 1. 大賞2点 表彰状、記念品、副賞100万円
2. 特別賞3点 表彰状、記念品、副賞30万円
3. その他賞4点 表彰状、記念品
- 専用サイト: <https://rubybiz.jp>

<審査委員長>



「Ruby」開発者(1993年)
Rubyアソシエーション理事長
まつもと ゆきひろ

<審査委員>

株式会社オープンソース活用研究所
代表取締役所長 寺田 雄一

日経BP社 技術メディア局
局長補佐 中村 建助

一般財団法人 Rubyアソシエーション
評議員
デロイトデジタル 執行役員
森 正弥

Ruby アソシエーション理事
クックパッド株式会社
笹田 耕一

<Ruby biz Grand prixについて>

Ruby biz Grand prixは、プログラム言語「Ruby」を活用して、ビジネスの領域で新たな価値を創造し、今後の発展が期待できるサービスや商品表彰するグランプリです。企業はRubyを使った開発により、時代の変化に柔軟に対応し、企業・社会が抱える課題に対してスピーディーにアプローチすることができます。本グランプリを通して、Rubyがもたらす革新性を国内外に広く発信し、IT産業全体の振興に貢献いたします。